

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【公開番号】特開2010-79268(P2010-79268A)  
 【公開日】平成22年4月8日(2010.4.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-014  
 【出願番号】特願2009-170179(P2009-170179)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/20 5 0 5

G 0 3 G 15/20 5 5 5

【手続補正書】  
 【提出日】平成24年6月28日(2012.6.28)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

磁束を生ずるコイルと、前記コイルから生ずる磁束により発熱する導電層を有し、記録材上の画像を加熱する回転可能な発熱部材と、発熱部材の内側に配設されている磁性体手段と、前記コイルに対向する像加熱部材の領域と磁性体手段とに挟まれた領域に配置され、前記発熱部材の温度を検知する温度検知部と、前記温度検知部と電気的に接続されている電気線と、前記電気線を介して入力された前記温度検知部の出力に基づいて前記コイルへの通電を遮断する遮断部と、を有し、前記コイルは前記像加熱部材の外側に配置されている像加熱装置において、

前記像加熱部材を介して前記コイルと対向する領域内に前記磁性体手段は開口を有し、前記電気線は開口を通して前記像加熱部材の外部に出されていることを特徴とする像加熱装置。

【請求項 2】

前記温度検知部材により検知された温度に応じて前記コイルへの通電を制御する制御部を有することを特徴とする請求項 1 に記載の像加熱装置。

【請求項 3】

前記開口と対向する像加熱部材の位置を避けた領域の温度を前記温度検知部は検知することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の像加熱装置。

【請求項 4】

前記磁性体手段は複数の磁性体コアを有することを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の像加熱装置。

【請求項 5】

記録材を挟持搬送するニップ部を形成する加圧部材と、前記ベルト部材を介して前記加圧部材を圧すると共に前記像加熱部材を案内するガイド部と、前記ガイド部を前記加圧部材に対して加圧するための金属ステーを有し、前記電気線は前記金属ステーとガイド部との間の空間を通して前記像加熱部材の外部に出されていることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の像加熱装置。

【請求項 6】

磁束を生ずるコイルと、外側に配置された前記コイルから生ずる磁束により発熱する導

電層を有し、記録材上の画像を加熱する回転可能な発熱部材と、発熱部材の内側に配設されている磁性体手段と、前記コイルに対向する像加熱部材の領域と磁性体手段とに挟まれた領域に配置され、前記発熱部材の温度を感知する感温部と、前記感温部と電氣的に接続されている電気線と、を有し、前記感温部の温度が予め設定された温度に達すると前記電気線との電氣的な接続により前記コイルへの給電が遮断される像加熱装置において、

前記像加熱部材を介して前記コイルに対向する領域内に前記磁性体手段は開口を有し、前記電気線は開口を通して前記像加熱部材の外部に出されていることを特徴とする像加熱装置。

【請求項 7】

前記開口と対向する像加熱部材の位置を避けた領域に前記感温部が配置されていることを特徴とする請求項 6 に記載の像加熱装置。

【請求項 8】

前記磁性体手段は複数の磁性体コアを有することを特徴とする請求項 6 または請求項 7 のいずれかに記載の像加熱装置。

【請求項 9】

記録材を挟持搬送するニップ部を形成する加圧部材と、前記ベルト部材を介して前記加圧部材を圧すると共に前記像加熱部材を案内するガイド部と、前記ガイド部を前記加圧部材に対して加圧するための金属ステーを有し、前記電気線は前記金属ステーとガイド部との間の空間を通して前記像加熱部材の外部に出されていることを特徴とする請求項 6 から請求項 8 のいずれかに記載の像加熱装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

そこで、本発明は、磁束を生ずるコイルと、前記コイルから生ずる磁束により発熱する導電層を有し、記録材上の画像を加熱する回転可能な発熱部材と、発熱部材の内側に配設されている磁性体手段と、前記コイルに対向する像加熱部材の領域と磁性体手段とに挟まれた領域に配置され、前記発熱部材の温度を検知する温度検知部と、前記温度検知部と電氣的に接続されている電気線と、前記電気線を介して入力された前記温度検知部の出力に基づいて前記コイルへの通電を遮断する遮断部と、を有し、前記コイルは前記像加熱部材の外側に配置されている像加熱装置において、前記像加熱部材を介して前記コイルに対向する領域内に前記磁性体手段は開口を有し、前記電気線は開口を通して前記像加熱部材の外部に出されていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明は、磁束を生ずるコイルと、外側に配置された前記コイルから生ずる磁束により発熱する導電層を有し、記録材上の画像を加熱する回転可能な発熱部材と、発熱部材の内側に配設されている磁性体手段と、前記コイルに対向する像加熱部材の領域と磁性体手段とに挟まれた領域に配置され、前記発熱部材の温度を感知する感温部と、前記感温部と電氣的に接続されている電気線と、を有し、前記感温部の温度が予め設定された温度に達すると前記電気線との電氣的な接続により前記コイルへの給電が遮断される像加熱装置において、前記像加熱部材を介して前記コイルに対向する領域内に前記磁性体手段は開口を有し、前記電気線は開口を通して前記像加熱部材の外部に出されていることを特徴とする。